

**【全体講評】**

今回の教科書改訂で一番感じたことを3つ挙げたい。1点目は学習者にとって、学校の学び以外で学習できる幅が広がったこと。デジタルコンテンツ。

2点目は、小学校での英語教科化後初めての改定で、多少の違いがあるものの、各社とてもよくできている。1単元の構成に工夫がある。

3点目は、イラストや写真が増えて生徒は喜ぶが、特にリーディング題材では改定前より、語彙・文法事項などの難易度が上がったために、個別の丁寧な指導が必要となる。

**2021年度英語教科書改訂による6社の中学1年文法事項比較表**

NEW HORIZON 東京書籍	NEW CROWN 三省堂	Sunshine 開隆堂	ONE WORLD 教育出版	Here We Go! 光村図書	BLUE SKY 啓林館
<b>Unit 1</b> 1人称BE動詞 6時間 1人称一般動詞 2人称BE動詞 2人称一般動詞 canの文	<b>Lesson 1</b> BE動詞・一般動詞(1, 2人称) (肯定・疑問・否定) (+1) What food~? <b>Lesson 2</b> I can~/ / I cannot~. 8時間 Can you~? (+1) How many~?	<b>1課</b> BE動詞(肯定・否定・疑問) 5時間 Where~? <b>2課</b> 一般動詞(肯定・疑問・否定) 5時間 名詞の複数形 When~? (+1) 命令文・否定命令文	<b>Les. 1</b> BE動詞(肯定) 5時間 一般動詞(肯定) My favorite... is ~.	<b>UNIT 1</b> I'm~. I (don't) like~. I can (can't)~.	<b>UNIT 1</b> BE動詞(am, are) 4時間 <b>UNIT 2</b> This [That, He, She] is ~.
<b>Unit 2</b> This [That, He, She] is~. 6時間 Is that [this]~? What~? / Who~? How do you~? What do you~?	<b>Lesson 3</b> This is~/ / This is not~. 12時間 Is this~? / What is~? I like him [her]. / Who is~?	<b>3課</b> 助動詞 can(肯定・否定・疑問) 5時間 What can you~? (+1) Can I have~? / How much~?	<b>Les. 2</b> Are you~? / Do you~? 6時間 Can you~? What~? / When~? / Where~? / How many~?	<b>UNIT 2</b> Are you~? Do you~? Can you~?	<b>UNIT 3</b> This [That, He, She] is ~. 6時間 What~? (+1) What time is it? / It is~.
<b>Unit 3</b> Where~? / When~? 6時間 I want to~. How many~?	<b>Lesson 4</b> 三単現(肯定・疑問・否定) 8時間 Which~? (+1) Whose~?(所有代名詞)	<b>4課</b> This [That, He, She] is~. 5時間 代名詞 Who's~? 三単現(肯定・疑問・否定) 5時間 代名詞の目的格(him, her)	<b>Les. 3</b> 三単現(肯定・否定・疑問) 7時間 I like~ing. I want to ~. How many~? How do	<b>UNIT 3</b> What do you~? I like~ing. I want to ~. How many~?	<b>UNIT 4</b> What do you~? 6時間 名詞の複数形 How many~?
<b>Unit 4</b> 命令文・否定命令文 6時間 What time~? What+名詞~?	<b>Lesson 5</b> 現在進行形(肯定・疑問) 8時間 Whose~?(所有代名詞)	<b>5課</b> 三単現(肯定・疑問・否定) 5時間 Why~? / Because~. 7課 There is [are]~. 5時間 How~? (+1) 疑問詞	<b>Les. 4</b> 一般動詞・BE動詞の過去形 (肯定・否定・疑問) *1学期 での過去形導入は小学校の英語教育 の成果を見る上で重要なチャレンジ。 <b>Les. 5</b> 現在進行形(肯定・疑問) 7時間 What +進行形の疑問文?	<b>UNIT 4</b> This [That, He, She] is ~. 9時間 Who's is he your friend? —Yes, he is. / No, he isn't. He's notin the brass band.	<b>UNIT 5</b> can, Whoを使う疑問文 6時間 人称代名詞(目的格) <b>UNIT 6</b> 三単現(肯定・疑問・否定) 6時間 When~? / Where~? / How~?
<b>Unit 5</b> 前置詞 / like~ing be good at ~ing 一般動詞・BE動詞の過去形	<b>Lesson 6</b> 一般動詞の過去形 (+1) look+形容詞	<b>6課</b> 代名詞の目的格(him, her) 5時間 Why~? / Because~. 7課 There is [are]~. 5時間 How~? (+1) 疑問詞	<b>Les. 6</b> Which~? / Why do you~? 7時間 Because~. / Who~? / Whose~?	<b>UNIT 5</b> Where~?(BE動詞, 一般動詞) 9時間 命令文・否定命令文 When~?(BE動詞, 一般動詞) Let's~?	<b>UNIT 7</b> When~? / Where~? / How~? <b>UNIT 8</b> Which~? / Why~? / 6時間 BE動詞の過去形
<b>Unit 6</b> 三単現(肯定・否定・疑問) 6時間 (+1) Can I~? / Can you~? (+1) 辞書の使い方②	<b>Lesson 7</b> BE動詞の過去形 過去進行形 (+1) look+形容詞	<b>8課</b> 現在進行形(肯定・否定・疑問) 5時間 現在進行形(肯定・否定・疑問) 8時間 BE動詞の過去形、過去進行形 (肯定・疑問・否定)	<b>Les. 7</b> You [don't] have to ~. / I must [mustn't] ~. / May I ~? / Bob may ~. / He is able to ~.	<b>UNIT 6</b> 三単現(肯定・疑問・否定) 9時間 Can I~, Which~, A or B?, How much~? What time~? 疑問詞	<b>UNIT 9</b> 一般動詞の過去形 (肯定・疑問・否定) (+1) 感嘆文(How~!, What~!)
<b>Unit 7</b> 人称代名詞の目的語 6時間 Which~(, A or B)? Whose~? mine, yours (+1) What's wrong? —I have~.	<b>Lesson 8</b> 未来を表す表現 8時間 (will, be going to~.) (+1) Can you~?	<b>9課</b> 一般動詞の過去形 (肯定・疑問・否定) 8時間 BE動詞の過去形、過去進行形 (肯定・疑問・否定)	<b>Les. 8</b> What are you going to ~? —We are going to~. / I will~. (+1) should *Les. 7, 8では奥の深い 法助動詞の表現に力を入れている。 <b>Les. 9</b> There is [are] ~ / Is [Are] there ~? 7時間 SVC (C=形容詞)	<b>UNIT 7</b> Where~?(BE動詞, 一般動詞) 命令文・否定命令文 When~?(BE動詞, 一般動詞) Let's~?	<b>UNIT 10</b> 現在進行形(肯定・疑問・否定) 8時間 What +進行形の疑問文?
<b>Unit 8</b> 現在進行形(肯定・疑問) 6時間 感嘆文(How~!, What~!)					
<b>Unit 9</b> want [try, needなど] to~. 6時間 What do you want to~? look+形容詞 (+1) I'm looking for~. —Go along this street. Turn left at~.					
<b>Unit 10</b> 一般動詞(肯定・疑問・否定) 6時間					
<b>Unit 11</b> be動詞の過去形 6時間 There is [are]~. 過去進行形 (+1) What would you like~? —I'd like~. Would you like~? —Yes, please. [No, thank you.]	小中連携の取れた構成 1レッスン、1つのテーマでの分量が多く、かといって飽きさせない構成になっている。複数の教員が分担して使用するのに使い勝手がいいと思われる。また生徒サイドから見ると、小学校で習って来たことも踏まえての構成になっているので、スムーズな導入が期待できる。 QRコードの充実 は音声だけで学びを深めるデジタルコンテンツにあふれて、自立した学習を後押ししてくれる。 「題材」のNEW CROWNは今回も健在。 5技能・6技能ともいわれる英語力をつけるために、生徒の知的好奇心に応える題材がそろった。	言語材料は多くの教員には見慣れた配列 BE動詞→一般動詞→三単現のs→現在進行形→過去形と進む配列は教員にとっては、現行の配列からそれほどの変化はない。小学校での既習事項である過去形の単元が、三学期になっているので、英語力のある生徒の知識欲にいかに応えるかを考える必要あり。 「しかけ」がうまく施されている。 生徒は教員が気づかないキャラクターの細かいところまでがつくものである。この点においてはキャラクターは重要で、学びの大きな要素にもなる。Our Projectもその1つ。 「リテリング活動」は全体のボトムアップにはとても良い手段だと考えます。	過去形/I want to~/ /like~ingが1学期に! まさしく小学校での英語教科化を受けての編集となっている。私は全く問題ないと考えます。 法助動詞重視は独自の取り組み Les. 7, 8で法助動詞を集中的に学習する画期的な構成はコミュニケーション力と発信力を鍛える姿勢が感じられます。 印刷文字(フォント)に配慮はすばらしい 生徒の英語力の成長に応じてフォントを変えていくのは当然で、ここに着目されたのはありがたい。教える側も学ぶ側のことを意識したい。まなびリンクで家庭学習の充実を図る。	振り返り(自己評価)が新編でGOOD! Unitの学習をふり返り、現在の自分の達成度を評価する。また巻末のCAN-DO Listで示された技能目標とのつながりや次の言語活動への意識づけをしている。 読む目的に応じて、多量の英文からできるだけ短い時間で必要な情報や概要、要点を把握すること、つまり「高速処理」する力は今後重要。この考え方は私も同感。そこを意識して編集されているのはさすが「国語の光村」。 QRコードの幅が広がった。音声だけでなく、さらに深い学びへと誘ってくれる。	全体的にゆっくりとした流れになっている 小学校で2年間、英語学習をしてきたことを考えればもう少し言語材料を増やしていい。 一方で中高の連携のページ(中学3年)でどこよりも丁寧な編集で充実している。 題材においては生徒を惹きつけるリアルな題材(SDGsに対応したテーマ)が数多くあり、社会に目を向けさせ、知的好奇心を掻き立てる。QRコンテンツで音声を無料で学べるのはうれしい。私の中学生時代からみればうらやましいかぎりである。

1年

1年